



2024年11月7日

各位

上場会社名 株式会社 JMS
 代表者名 代表取締役社長 桂 龍司
 (コード番号 7702 東証スタンダード市場)
 問合せ先 執行役員コーポレート本部長 末田 穰
 TEL 082-243-5844

2025年3月期中間連結会計期間における業績予想と実績との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月14日に公表しました2025年3月期中間連結会計期間の業績予想と本日公表の実績に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2025年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2025年3月期中間連結会計期間業績予想と実績との差異

(2024年4月1日～2024年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	34,000	250	250	100	4円08銭
今回実績 (B)	33,830	155	△118	△258	△10円56銭
増減額 (B-A)	△169	△94	△368	△358	
増減率 (%)	△0.5	△37.9	—	—	
(ご参考) 前期中間期実績 (2024年3月期中間期)	31,248	△320	△135	△258	△10円58銭

2. 2025年3月期通期連結業績予想の修正

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	70,000	800	800	400	16円34銭
今回修正予想 (B)	70,000	700	400	100	4円08銭
増減額 (B-A)	—	△100	△400	△300	
増減率 (%)	—	△12.5	△50.0	△75.0	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	65,292	△268	145	△36	△1円48銭

3. 差異及び修正の理由

2025年3月期中間連結会計期間における売上高については、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムのほか、海外需要回復により血液・細胞領域の売上が順調に拡大したことにより、概ね前回予想通りとなりました。

利益については、国内外での主力製品の伸長や国内消耗品を中心に一部価格転嫁を進めたことによる増収効果はあるものの、棚卸資産の廃棄損の計上に加えて、営業外では為替が大きく不利に働いたことに伴う為替差損の計上などもあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれにおいても、前回予想を下回ることとなりました。

また、2025年3月期の通期連結業績予想については、引き続き、販売の拡大や価格見直し、製造原価の低減及び効率的な事業活動による経費の低減など収益改善を進めつつ、中間連結会計期間の実績と、最近の円安傾向や原油価格の動向なども踏まえ、前回公表した業績予想を修正しました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上